

- 1 開催日時 平成23年10月11日（火） 18時00分～20時00分
 - 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 第二会議室
 - 3 出席委員 石川茂吉、川村昭三、大瀧国夫、齋藤紀世子、佐々木武夫、志田重一、高橋紀子、和田明子
 - 4 欠席委員 遠藤仁、岡部一宏
 - 5 事務局等 情報発信課長 企画係長、永田主任
-

- 1 開 会 情報発信課長 (18:00)
- 2 委員長あいさつ
- 3 確認事項等
資料確認（事前配布資料の修正含む）及び本日の日程について（事務局）

4 協 議

（1）平成23年度事務事業評価の外部評価について

【事務局】 今年度の庄内町事務事業評価の取り組み概要について説明

【委員】 何回開催の予定か。

【事務局】 今年度4回の予定である。

【委員】 スケジュール配分をうまく行っていただきたい。

【事務局】 先ほど担当より4回とあったが、今年度外部評価対象事業が全13事業あるうち、本日3事業を評価いただくこととしている。よって、残りが10事業あるわけなので、次回、次々回で5事業ずつ評価いただき、最後の4回目で意見書の内容についてご検討いただくスケジュールとしたい。

【委員長】 意見書のとりまとめ期限はいつ頃を予定しているのか。

【事務局】 できれば11月中として考えている。

【各委員】 委員により評価対象事業として事前に選定・意見提出した事業に対する補足説明（4名）

【委員長】 それでは、これより今年度の外部評価に入りたい。初めに、情報発信課所管事業ということで、NO205 男女共同参画社会計画推進事業について事務局より説明願いたい。

【事務局】 事業の概要説明

【委員】 成果指標は何に基づく数値を出しているのか。どの会議に参加しても同じ顔ぶれとなっているのが現状である。結局のところ、微増はしても極端には向上しないと思われる。

【事務局】 成果指標の目標については、今後のまちづくりにおいて、女性の視点は必要不可欠であるとの観点から、例えば委員数が10人であれば、3人は女性を入れたいといったことである。

【委員】 目標設定の考え方が問題である。現実的な数値が良いのか、高い方が良いのか。個人的には50%など高い目標値を掲げるべきと考える。

【委員】 推薦母体の問題もあるため、その点を検討する必要がある。

【事務局】 10人の委員のうち女性委員を3人入れるとしても、そのためには様々な環境整備が必要

になる。これまでは、団体であれば会長を選出いただいていた経緯があったが、現在では、各団体における役割分担等も進んでいるため、選出いただく方については各団体の考え方にお任せし、より多くの方々が委員として参画できる仕組みに変えている。ただし、このような手法を取った場合でも、各団体の中に女性役員がいないと選ばれないこともある。このような点ひとつ見ても、女性委員3割の達成は容易ではない。

- 【委員】 資質も必要なので、誰でも良いといったことでもない。状況としては、老人会などについては、女性が多くなっている。
- 【委員長】 女性委員の立場から見てのご意見を伺いたい。
- 【委員】 役場内部の状況はどうなっているのか。担当者の意見にあるとおり、行政内部の実態としては、参加したくてもできていないのではないかと思われる。内部の平等度の向上が必要ではないか。
- 【委員】 個人的には教育・子育て関連の施策について享受しており、医療費の無料化やランドセル贈呈など、他自治体と比較しても手厚くなっているため、ありがたく感じている。庄内町に住みたいと思っている知人もいる。各種委員会等における女性登用率を上げるとのことだが、実際参加してみたいと思っている人はいるのか。女性としては、やはり家庭が優先される。参加するためには、家族の理解が必要。理解があれば、町の取り組みに積極的に参加できると思う。役場内部でも同じなのではないか。例えば、出世より家庭を取るなど。託児を設けるなど働きやすい環境づくりに努め、働き方を変える必要がある。働きながら子育てできる仕組みづくり、ベースづくりを役場から実施してほしい。
- 【委員】 高橋委員が言われたことを目指すのが、この事業の目的である。
- 【事務局】 成果指標の登用率は、あくまでも目に見える数値であって、委員として出てこれる環境づくりが合わせて必要である。
- 【委員】 子育てしながら働ける制度づくり、点検が必要である。
- 【委員】 今の時代、父親の子育てについての啓発が大きくなっている。イクメンフォトコンテストやファザーリングジャパン代表者の方を呼んでの講演会が予定されているなど、役場の取り組みには感心したところである。意識改革を役場で行ってくれたことは良いことである。
- 【委員長】 いずれにせよ、目標である30%達成には意識改革が必要である。本委員会としての評価としては、内部評価結果に従って妥当であると思われる。それでは、次にNO.211 広域行政事業（新庄酒田地域高規格道路建設促進事業・日本海沿岸東北自動車道建設促進事業）について事務局より説明願いたい。
- 【事務局】 事業の概要説明
- 【委員】 高規格道路については、廻館～立川の区間について見通しが立っていない状況。早急に見通しを立ててほしい。
- 【事務局】 道路整備に関しては、復興の関係で三陸道が向こう10年で整備されることから、その分高規格道路及び日沿道関連の予算が不足する可能性があった。しかし、日沿道については懸念であった県境部を10年で整備することとなった。ただ、一方で高規格道路の整備は予定どおり進むか不透明である。
- 【委員長】 道路整備については、国に対する要望などにより、幹線道路の早急な整備が必要である。
- 【委員】 シンポジウムへの参加がどこまで効果があるのか不明である。
- 【委員】 要請されて参加している事業である。ただ、今回の震災により太平洋側の被災は大きいことから、物資については日本海側からの輸送が有効である。
- 【委員】 シンポジウム参加に意義はあるのか。
- 【委員】 必要な事業ではあると思う。
- 【委員】 それで道路が整備されるのであれば良い。
- 【委員】 道路整備については、長い目で考える必要がある。ただし、地元の要望はあまり高いとは言えない状況のため、新たな道路を作るのではなく、既存の道路の整備でも良いのではな

いかと考えている人もいる。

- 【委員長】 それでは、本事業については、内部評価結果を妥当とする。それでは、次に NO.216 定住促進対策事業について事務局より説明願いたい。
- 【事務局】 事業の概要説明
- 【委員】 農業志望の知り合いの方が、庄内町の空き家情報システムを活用して移住したということで初めて知ったところである。本人達としては、どこでも良かったとのことだが、情報発信をしていた庄内町に決めたとのこと。ただ、農村部の集落に突然入ることについては、少し心配しているところでもあるため、スムーズに地域に溶け込めるよう、今後のつなぎ方が重要である。
- 【委員】 情報発信の関係から、最近庄内町のテレビ CM を観るが、どういった意図があったのかお聞きしたい。
- 【事務局】 9月22日から1ヶ月間、2種類のCMを放送している。民放4社合わせて約180本となっている。放送される時間は流動的である。まずは、庄内町を知ってもらおうといった取組みであり、他にも山形新聞への広告記事掲載、庄内空港への大垂幕設置、余目駅前の広告塔のリニューアルを実施している。
- 【委員】 こういった取組みを見ていると、町はいろいろと動いていると感じる。情報発信をすることで知ってもらうことは重要なことである。ただ、庄内町は農家にとっては魅力的な町かもしれないが、他で仕事をしている方が戻ってこれるのか疑問である。選ばなければ仕事はある。本当に庄内町に住みたい、暮らしたいという人が必要である。若者も自分で暮らしていこうといった緊迫感も必要である。
- 【委員】 庄内町は「何もなくとも住みやすい町にしよう」と言っている知人がいる。自然が素晴らしく、様々な施設もある。そう考えると、より利便性が高く、土地価格も安ければ非常に良い町と言える。風が強いのは難点であるが、移住されたとしても、定住性が低いと思われる。子供も少ない。内部ではなく、よそから見た良さが必要。例えば、固定資産税額が安い、電気料が安いなどといった具体的なキャッチフレーズが必要である。
- 【委員】 自分は第四学区に住んでいる。自分が通っていた時代は学年2クラスだったが、現在は1クラスとなっている。第3小学校の近辺にはアパートなどがあるため、そちらに移っているのが要因である。こういった現象が起きているため、3世代同居が崩れてきている。例えば、町営アパートを第4学区に建設するなどの施策をとってみてはどうか。第4学区の子ども数減少に歯止めをかけるためにも、同居・別居の選択肢を持たせることも必要である。
- 【委員長】 子どもを産み育てやすい環境とし、今以上に住みたくなるような町にするためにも、今の取り組みをより一層拡充して継続していくべきであることからして、本事業は内部評価を妥当とする。

(2) その他

(評価シート全体に対しての意見)

- 【委員】 町の事業として、やめるべきものは廃止すべきである。評価シートを見ても、昨年度から何ら変わっていない状況にあると思われる。

5 その他

次回の日程調整について

出席委員の調整を踏まえ、次回開催は平成23年10月25日(火)午後6時00分からの開催に決定。会場については、庄内町役場西庁舎第二会議室とし、案内通知により再度お知らせすることとした。

6 閉会

(20:00)